

学校だより



津市立櫛形小学校
R5.12.20 発行
第13号 文責:校長



令和5年もいよいよ残すところ10日あまりとなりました。いつものことながら、時が流れるのは早いものだと改めて感じます。行事盛りだくさんの2学期もあっという間でした。デイキャンプ、社会見学、くしがたコンサート、社会見学、遠足、修学旅行、大なわ大会など、様々な体験や教育活動を通して、子どもたちが成長してくれていることを実感しています。これも保護者の皆さまや地域の方々の温かいご理解とご協力の賜物であると教職員一同感謝しております。ありがとうございました。来る令和6年も変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

☆あなたがいてくれるだけで嬉しいというメッセージ☆

～ 子どものほめ方 ～

「子どもはほめて育てましょう!」ということは、すでに通説となっているように思います。ところで皆さんは、お子さんがテストで百点をとって帰ってきた時や、徒競走で1等だった時、お子さんにどのような言葉をかけますか。たいていは「百点だったの。よくがんばったね。」「持久走1等だったね。すごい!」というほめ方をするとと思います。



このほめ方は、見方を変えると「百点だったから」「1等だったから」ほめるという結果主義と言えます。このようにほめられ続けると、「百点でなければ(1等でなければ)うれしくない」というこだわりが強くなり、そこに至る過程を楽しめなくなる可能性があるというお話を聞いたことがあります。

一人一人の子どもが同じような努力をしても、全員が同じような結果になるとは限りません。その結果が満足のいくものであってもなくても、そこに至るまでの過程を十分に認め、ほめることを大切にしたいものです。特に結果が良かった時にこそ、そこに至るまでの過程を認めることを大事にしていきたいと思っています。

このように子どもの行動をほめる、つまり子どもがやり遂げたこと、努力したことを認めるほめ方のほかに、もう一つ子どもの存在を認めるというほめ方があります。これは、特に何かをしなくてもほめられる、文字通り、存在するだけでほめられるというものです。頭の中では思っても、「あなたがいてくれるだけで嬉しい」と、子どもに伝えることはなかなか難しいですね。

子どもは誰かに「存在そのものを認められている」と思えるだけで、長所も短所も併せもった自分を「価値ある人間だ」という自己肯定感を育てることができます。自己肯定感をもてた子は、他者の違いを理解し、認め、思いやることができます。成功や優劣に関係なく、「ただそこにいるだけで十分だ」という温かいメッセージを、私も櫛形小学校の子どもに伝え続けていきたいと思っています。



終業式には子どもたちが「かがやき(通知表)」を持ち帰ります。是非子どもたちの頑張っている様子をご覧ください。そして、お子さんのほめるところをたくさん見つけて、いつもより多くお話をしてみたいでしょうか。

青木さん・田中さん

ありがとうございました！

5月にサツマイモのつるさしを教えていただいた田中寛さんと青木幸夫さんに感謝の気持ちをこめて、1・2年生が「おもちゃパーティ」を開きました。まずは、ふかしたてのサツマイモをみんなで試食♡「あま〜い」「おいしい」と満面の笑みがこぼれます。

続いて、1・2年生が生活科で取り組んでいる「おもちゃランド」へご招待。青木さんと田中さんと一緒におもちゃランドを楽しみました。

最後は、歌♪「まっかな秋」のプレゼント。そして、感謝のお手紙を手渡しました。青木さん、田中さん、本当にありがとうございました。



3学期の主な行事予定

1月

- 9日(火) 始業式 3限授業
- 10日(水) 身体測定 3限授業
- 11日(木) 給食開始 平常授業
- 15日(月) 委員会
- 16日(火) 児童集会
1・2年生出会い学習
「ベトナム文化について」
- 19日(金) 6年生文化体験プログラム
「書道でアート」
- 22日(月) クラブ
- 23日(火) 5年生スタディチェック
- 26日(金) 人権授業参観
PTA 人権講演会

2月

- 5日(月) 委員会
- 6日(火) 入学説明会
- 20日(火) 6年生を送る会
学校運営協議会

3月

- 4日(月) 委員会
- 5日(火) 児童集会
- 18日(水) 給食終了
- 19日(木) 卒業式
- 25日(月) 修了式



* 予定は変更になる場合があります。

1月26日(金) 人権教育授業参観・PTA 人権講演会のご案内

授業参観 5限目 13:45~14:30 各教室

各学年で取り組んでいる人権教育。自分のことや友だちのこと、社会のことを改めて見つめ直して考えます。

人権講演会 子どものスマホと親の目

津PTA連合会の出前講座を活用し、ルミノソ (luminoso) の講師の方をお招きし、「子どものスマホと親の目」と題した講演をしていただきます。講師の方自らの子育て体験におけるスマホとのかかわりや、投稿の危険性、フィルタリングの必要性等のお話をさせていただきます。

